

UmbrellaセキュアWebゲートウェイにおけるUSリングフェンシングについて

内容

[はじめに](#)

[SWGでのUSリングフェンシング](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco UmbrellaセキュアWebゲートウェイがUSリングフェンシングを提供する方法について説明します。

SWGでのUSリングフェンシング

UmbrellaのセキュアWebゲートウェイ(SWG)に米国用リングフェンシングを導入すると、米国国内に留まる米国顧客のトラフィックを保護できます。この機能により、米国のトラフィックが地理的な位置に基づいてカナダの国境を通過する可能性が最小限に抑えられます。

UmbrellaのカナダのDCは、顧客がプロキシアドレス(swg-url-proxy-https.sigproxy.qq.opendns.com)を検索するときにGeo-IPチェックを実行するように設定されています。顧客のIPが米国内にあることが検出されると、トラフィックを米国のデータセンターにリダイレクトできます。

現在、米国のリングフェンシングはUmbrellaのカナダのデータセンターにのみ適用されます。これは、アベイラビリティに基づいて、米国の顧客トラフィックがバンクーバーに到達した場合、トラフィックはアベイラビリティの順序でLAX、DFW、またはPAOにリダイレクトできることを意味します。米国の顧客トラフィックがTorontoをヒットした場合、トラフィックはアベイラビリティの順にCHI、NYC、またはMIAにリダイレクトできます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。